

●活動目的

1. 入院患者の褥瘡予防をはかるとともに、発症後効率的な治療の推進をする

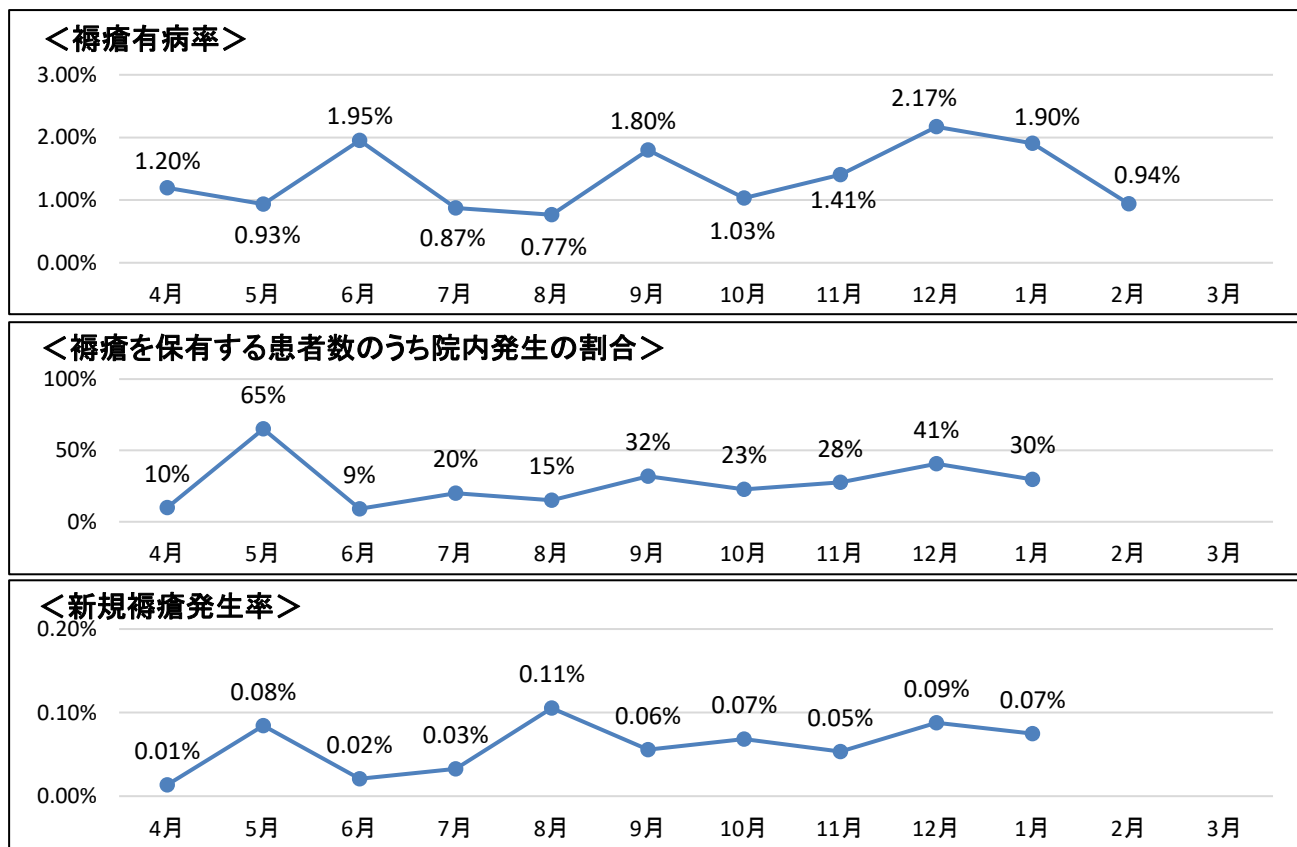
●活動内容

1. 褥瘡対策に関する現場の情報収集および実態調査
2. 日常生活の自立度が低い入院患者につき、褥瘡に関する危険因子の評価を行い、褥瘡に関する危険因子のある患者及び既に褥瘡を有する患者については、専任医師及び専任看護師が適切な褥瘡対策の診療計画書を作成し、実施・評価する。
3. 患者の状態に応じて、褥瘡対策に必要な体圧分散式マットレス等を適切に選択し使用する体制を整える。
4. 褥瘡治療における薬剤および医療材料の選択に関して整える。
5. 褥瘡ハイリスク患者に対して、褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書を作成し、それに基づく重点的な褥瘡ケアの実施状況および評価結果を記録する。
6. 褥瘡対策に係るカンファレンス・褥瘡回診の実施を週に1回実施する。
7. 褥瘡に関する研修を開催する。
8. 偶数月に褥瘡チームによる委員会・勉強会・症例検討の実施

●2019年活動状況・実績

1. 褥瘡対策マニュアルの作成・配布・コメディックスへの掲載
 - ・組織と活動
 - ・褥瘡対策に関する記録
 - ・褥瘡ハイリスク患者ケア加算に関する記録
 - ・褥瘡予防対策
 - ・褥瘡の治療
2. 局所陰圧閉鎖療法 of 算定漏れについて調査・対策
3. 入院基本料に関する活動
 - ・日常生活自立度評価: 100%、褥瘡に係る診療計画書の記載: 100%
 - ・体圧分散式マットレスの整備を実施
 - 破損・消耗しているマットレスは 38 台あり、回収・交換を実施
 - エアマットレスの整備を実施: 不足台数調査し、対応中。
4. 褥瘡に係るカンファレンス・褥瘡回診の実施
5. 褥瘡ハイリスク患者ケア加算(500点)に関する活動
 - ・褥瘡ハイリスク患者に対してアセスメントを実施し褥瘡予防治療計画書を作成・実施・評価
 - ・院内研修の実施
 - 年4回開催: ①褥瘡総論②褥瘡ケア③褥瘡患者の栄養④ポジショニング

6. データ統計



<褥瘡回診延件数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	25	21	13	4	16	14	18	22	48	20	16	

1 回の回診: 平均 5 件 所要時間: 約 1 時間～1 時間半

<褥瘡ハイリスク患者ケア加算（500 点 入院期間中 1 回限り）件数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数		169	169	164	165	158	129	168	186	101		